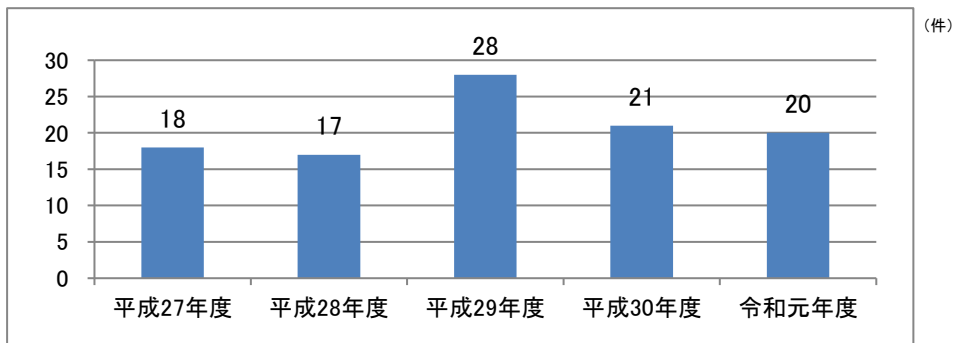


14 直線加速器による定位放射線治療患者数

○項目の解説

定位放射線治療とは、凹凸のあるがん病巣の形状に合わせて様々な角度と照射範囲で放射線照射を行う治療です。がんの周辺の正常な組織を傷つけずに、病巣だけを狙って治療を行うため、綿密な治療計画と施行時の正確な位置決めが必要となります。このため、通常の放射線治療より時間と手間がかかります。高度な放射線治療を施行する力を示す指標といえます。

○当院の実績



○当院の自己点検評価

当院では、脳定位放射線治療を平成9年より、体幹部定位放射線治療を平成21年より実施しています。脳定位放射線治療は、転移性脳腫瘍を中心に施行され、体幹部定位放射線治療は早期肺癌及び転移性肺腫瘍を中心に施行しています。

また、脳転移に対しては、全脳照射よりも定位放射線治療が選択されることが多くなり治療数が増加しております。侵襲的だった1回照射の定位手術的放射線治療(SRS)から、比較的腫瘍径の大きな腫瘍や複数個の腫瘍が同時に照射可能なVMAT(強度変調回転放射線治療)を用いた分割照射による定位放射線治療(SRT)に移行しております。

体幹部定位放射線治療も早期肺癌を中心に増加傾向となっております。

脳定位、体幹部定位とも治療中の負担が小さいため、入院ではなく外来で施行する症例が増加していますので、今回データでの症例数は横ばいとなっています。

○定義

医科診療報酬点数表における、「MO01-3 直線加速器による定位放射線治療」の算定件数です。

○算式

実数